

古文ドリル：比況「やう・ごとし」識別 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「やう・ごとし」の比況

古文の比況表現：

形	接続	訳
やうなり	体言・連体形+「の」	～のようだ
ごとし	体言・連体形+「の」「が」	～のようだ
やうに	体言・連体形+「の」	～のように
ごとく	体言・連体形+「の」「が」	～のように

「やうなり」と「ごとし」の違い

形	活用	例
やうなり	形容動詞型（ナリ活用）	月のやうなり
ごとし	形容詞ク活用型	月のごとし

→ ほぼ同じ意味、活用と接続が違う。「ごとし」は漢文訓読体に多く、「やうなり」は和文に多い。

やうなりの活用

未然	連用	終止	連体	已然	命令
やうなら	やうなり/やうに	やうなり	やうなる	やうなれ	やうなれ

ごとのしの活用

未然	連用	終止	連体	已然	命令
ごとく	ごとく	ごとし	ごとき	○	○

識別の鉄則

1. 「やうなり」「やうに」「やうの」 → 比況の助動詞「やうなり」
2. 「ごとし」「ごとく」「ごとき」 → 比況の助動詞「ごとし」
3. 直前の活用形で接続を確認
4. 意味用法：
5. 比喩（～のようだ）：「雪のやうに白し」
6. 例示（～などの）：「春・夏のやうなる」
7. 婉曲（～という）：「思ふやうにて」
8. 推定（～らしい）：「降るやうなり」

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① 「の／が+やう／ごと」を見たら比況確定

比況の助動詞は「～の／～が」のあとに連結することが多い。 - 「雪のやうに」「玉のごとし」「夢のごとく」 → 即「比況」

「～のやうに」「～のごとし」のフレーズを見たら反射で比況と答える。

コツ② 「やう」が形式名詞のパターンに注意

「やう」は **比況の助動詞「やうなり」の語幹** だけでなく、「様（やう）」という**形式名詞**として「方法・様子」を意味することもある。 - 「思ふやうにて」 → 婉曲（「思うことには」「思うようにして」） - 「言ふやうは」 → 「言うところによれば」（形式名詞）

「思ふやう」「言ふやう」と来たら、**発言や思考の引用**で形式名詞扱い使い方。

コツ③ 「ごとし」は漢文訓読体に多い

漢文っぽい引き締まった文体（『方丈記』『徒然草』『平家物語』）で出てきたら「ごとし」、和歌や物語（『源氏』『枕草子』）なら「やうなり」が多い。 - 「玉のごとし」「水の流るる**がごとし**」 → 漢文訓読・無常観の文体 - 「雪の**やうなる**」「夢の**やうに**」 → 和文・物語の文体

文体の手触りで区別できる。

コツ④ 「やうなり」の意味判定は4択暗記

「やうなり」の意味は4種類。文脈ヒントで即答。 - **比喩**：「～のように」（雪のやうに白し） ← 一番多い - **例示**：「～などの」（春・夏のやうなる季節） - **婉曲**：「～という／～のようで」（思ふやうにて） - **推定**：「～らしい」（降るやうなり、雨が降っているらしい）

直前が体言・連体形＋「の」なら比喩/例示。「らしい」と訳して通れば推定。

試験本番でのチェック順序

1. 「やう／ごと」の **直前** を見る（の／が／連体形が来ているか）
2. 「の／が」＋やう／ごと → 比況で確定
3. 「ごとし／ごとく／ごとき」のかたち → 比況「ごとし」確定
4. 「思ふやう／言ふやう」と来たら形式名詞の可能性も検討

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- ・ 「思ふやうにて」を全部比況と決めつける（実は婉曲・形式名詞の用法あり）
- ・ 「ごとし」の活用形を見誤る（連体「ごとき」、連用「ごとく」が混在しやすい）
- ・ 「降るやうなり」を比喩と訳す（実は推定「降っているらしい」）

採点表

- ・ 基礎（Q1～Q20）： /20
- ・ 標準（Q21～Q50）： /30
- ・ 応用（Q51～Q80）： /30
- ・ 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- ・ 合計： /100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

「やうなり」「ごとし」を比況として識別する基礎。

Q1. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

雪のやうに白し。

Q2. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

玉のごとし。

Q3. 次の傍線部「ごとくに」を識別せよ。

夢のごとくにぞある。

Q4. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

風のやうなり。

Q5. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

月のやうの人。

Q6. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

鶴のごとき翼。

Q7. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

仏のやうに尊し。

Q8. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

雲のごとく消ゆ。

Q9. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

玉のやうに美し。

Q10. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

春のあけぼののやうなるもの。

Q11. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

我が思ふごとし。

Q12. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

月のやうの夜。

Q13. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

夢のごとき幻。

Q14. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

花のやうに散る。

Q15. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

古典の心、玉のごとし。

Q16. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

雷のごとく響く。

Q17. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

流るるやうに過ぐ。

Q18. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

鳥のごとき身軽さ。

Q19. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

いと玉のやうなる面持ち。

Q20. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

我が君は仏のごとし。

基礎編 / 20

【第2部】標準編 (Q21~Q50)

連体形接続・「が」接続・活用形を問う標準問題。

Q21. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

行く水の流るるやうなり。

Q22. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

過ぎし日は夢のごとし。

Q23. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

春の風吹くやうに心地よし。

Q24. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

矢のごとく駆ける。

Q25. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

老いたる者の言ふやうなり。

Q26. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

鬼のごとき形相。

Q27. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

朝霧のやうなるもの立ちのぼる。

Q28. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

我がごとく思ふべし。

Q29. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

渡る舟のやうに揺らぐ。

Q30. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

君が御心は石のごとし。

Q31. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

思ふやうにならず。

Q32. 次の傍線部「ごとくに」を識別せよ。

鏡のごとくに澄める池。

Q33. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

春雨降るやうなり。

Q34. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

いかなるやうの事ぞ。

Q35. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

父のごとき慈愛。

Q36. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

月のやうに清き心。

Q37. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

流るる水のごとく過ぎぬ。

Q38. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

此の世のあだなる事は浮雲のやうなり。

Q39. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

賢人のごとき人なし。

Q40. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

我が言ふやうに聞き給へ。

Q41. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

いにしへ思ふは昨日のごとし。

Q42. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

花のやうなる頬。

Q43. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

親のごとく慕ふ。

Q44. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

露のやうに消ゆ。

Q45. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

千歳もありぬべきがごとし。

Q46. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

そのやうの事は知らず。

Q47. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

山のごとき波。

Q48. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

川の流るるやうなりけり。

Q49. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

我らが思ふごとく。

Q50. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

子の親を慕ふやうに。

標準編 / 30

【第3部】 応用編 (Q51~Q80)

文中の比況構文、複合用法、引っかけパターン。

Q51. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

散りなむやうに惜しまるる。

Q52. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

露の身の消えなむごとし。

Q53. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

夢を見たるやうなり。

Q54. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

いみじきごときことなし。

Q55. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

蝉の声蝉時雨降るやうに聞こゆ。

Q56. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

水の流るるごとく過ぎぬ。

Q57. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

あのやうのこと言はず。

Q58. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

君の徳は山海のごとし。

Q59. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

雨降る日の続くやうに憂し。

Q60. 次の傍線部「ごとくに」を識別せよ。

玉のごとくに転ぶ。

Q61. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

春の眠りの覚めぬやうなり。

Q62. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

童のごとき心。

Q63. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

仏の御心のやうに清し。

Q64. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

友のごとく親しき。

Q65. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

あくる年も同じやうに過ぐ。

Q66. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

我れ汝を見ること父母のごとし。

Q67. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

神のやうなるお方。

Q68. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

鶴のごとき翼を持つ。

Q69. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

過ぐる年月、夢のやうに思ふ。

Q70. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

雲のごとく散る。

Q71. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

かばかりのやうの事。

Q72. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

紅葉、錦のごとし。

Q73. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

鏡の面のやうに静かなり。

Q74. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

流星のごとく速し。

Q75. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

怨むるやうなり。

Q76. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

いたづらなるごとき人。

Q77. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

子のやうにかしづく。

Q78. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

願ふ事は皆かなふごとし。

Q79. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

思はぬやうなる目を見つ。

Q80. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

月日のごとく過ぐ。

応用編 / 30

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

難関大頻出の文脈判定、用法分類、漢文訓読体の問題。

Q81. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

学びて時に之を習ふ、また説ばしからずや。朋遠方より来る、また楽しからずや。人知らずして慍らず、また君子ならずや。我れ視ること彼のごとし。

Q82. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

行く川の流れば絶えずして、しかも本の水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとどまりたる**ためし**なし。世の中にある人と栖と、又かくの**やうに**消えゆく。

Q83. 次の傍線部「ごとくに」を識別せよ。

行く水のご**とくに**ぞ。

Q84. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

風の前の塵に同じ。たけき者も遂にはほろびぬ、偏に風の前の塵に同じ。世の人みなかくの**やうなる**ものなり。

Q85. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

一念三千の理、玉のご**とし**。

Q86. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

同じ**やうの**心ばへなる人。

Q87. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

此のしぶとき翁のご**とき**もの。

Q88. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

いはむ**やうに**もあらず、書か**まほし**。

Q89. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

故老の言ふごとくにて。

Q90. 次の傍線部「やうなり」を識別せよ。

一夜の夢のやうなり。

Q91. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

人の心は野の風のごとし。

Q92. 次の傍線部「やうの」を識別せよ。

都の人のやうの装ひ。

Q93. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

我れ汝のごとき愚か者を見ず。

Q94. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

風吹けば沖の白浪立つやうに騒ぐ。

Q95. 次の傍線部「ごとく」を識別せよ。

玉のごとく光る露。

Q96. 次の傍線部「やうなる」を識別せよ。

月の影さしたるやうなる色。

Q97. 次の傍線部「ごとし」を識別せよ。

心ある人の言ふごとし。

Q98. 次の傍線部「やうに」を識別せよ。

思ふやうにならぬが世の常なり。

Q99. 次の傍線部「ごとき」を識別せよ。

賢人のごとき徳。

採点振り返り

セクション	配点	得点
基礎 (Q1～Q20)	20	
標準 (Q21～Q50)	30	
応用 (Q51～Q80)	30	
入試 (Q81～Q100)	20	
合計	100	

- 80点以上：完璧
- 60～79点：標準合格レベル
- 40～59点：基礎は固まっている。婉曲・例示の区別を反復
- 39点以下：「やうなり」「ごとし」の活用表から再確認

あしがき

比況「やう・ごとし」識別の核心： - 「やうなり」「ごとし」 → 「～のようだ」 - 接続：「やうなり」は体言・連体形＋「の」、 「ごとし」は連体形・「の」「が」 - 活用：「やうなり」は形容動詞型、「ごとし」は形容詞型 - 用法：比喩・例示・婉曲・推定

漢文訓読体には「ごとし」が多く、和文には「やうなり」が多い。方丈記・徒然草・源氏物語など、文体識別の鍵にもなる。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

© 個別指導塾フィット / 中本裕太 <https://kotennosensei.com>